平常展のみどころ

五大尊像

絹本著色　各縦138.0cm、横88.0cm
平安時代（11世紀）
国宝
岐阜・来振寺

不動、降三世、軍荼利、大威徳、烏枢沙摩の五尊からなる明王画像。五大明王それぞれの前に壇を設けて怨敵調伏や出産などの祈願をするという、五壇法と呼ばれる密教修法の本尊画像として用いられたと考えられる。通例の五大明王像と比べると、金剛夜叉明王に替えて烏枢沙摩明王を配し、童子形の脇侍や跪く眷属を配する点になどに特色があり、こうした図様は智証大師円珍（814-891）が唐から請来した図像に基づくといわれる。

五幅のうち降三世明王の絵絹の裏に寛治2年（1088）、軍荼利明王の絵絹の裏には寛治4年（1090）の開眼供養銘が墨書されており、制作年代が判明する仏画としては応徳3年（1086）制作の和歌山・金剛峯寺所蔵仏涅槃図に次ぐ古例である。

写真に掲げる大威徳明王は、六つの顔、六本の手、六本の足をもつ恐ろしいまでの忿怒の姿をあらわす。明王がまたがる牛の肉身も一種生々しいまでの迫力ある描写を示すが、その一方、頭髪や衣文に繊細な截金線、着衣には華麗な彩色文様があしらわれ、さらに火炎光背には意匠化された渦を巻く炎の表現も認められる。

以上のように本品は、絵画性と装飾性を兼ね備えた11世紀仏画の様相をよく伝えており、類い希な平安仏画の基準作として近年国宝に指定された。

谷口耕生（当館研究員）

西新館　11月29日（土）～平成21年1月4日（日）

金光明最勝王経 巻第六

紫紙金字　縦26.2cm　長792.5cm　18紙
奈良時代（8世紀）
国宝
当館

四天王ら諸仏諸天による国家鎮護を説く『金光明最勝王経』は10巻からなり、『法華経』『仁王般若経』とともに護国三部経として厚く信仰された経典である。

天平13年（741）2月に出された聖武天皇の詔によって、国ごとに国分寺・国分尼寺が建立されたことはよく知られているが、この詔では同時に各国に七重の塔を建立し、そこに金字の『金光明最勝王経』を安置することも命じていた。国分寺の正式名称は「金光明四天王護国之寺」であり、僧尼は毎月8日の『金光明最勝王経』転読が命じられた。つまりこれらは、仏教による鎮護国家思想に基づいた一連のプロジェクトだったのである。本品はもと備後国（広島県東部）国分寺に安置されていたものとされ、10巻が揃う貴重な品である。

この金字経巻書写の実態は、幸いにも正倉院文書から知ることができる。それによれば「写金字経所」が設けられ、天平18年（746）10月には71部（710巻）が完成していた。詔に紙色の指示はないが、天平18年の「写金字経所案」では装潢を行った能登忍人の項に「造紫紙」とあり、ここで作成されたのが紫紙金字『金光明最勝王経』だったことがわかる。

柔らかな紫色に金字が美しく輝く本品は、奈良時代の政治・仏教の特色を体現する存在であるといえよう。なお、今回展示されるもう1つの紫紙金字『金光明最勝王経』（当館）は、鎌倉時代、本品にならい後宇多上皇が書写したもの。ぜひ見比べて頂きたい。

斎木涼子（当館研究員）

西新館　11月29日（土）～平成21年1月4日（日）

開館予定（10月～12月）

■開館時間

平常時（～10月24日、11月11日～12月31日）
午前9時30分～午後5時
※10月24日までの毎週金曜日と、12月17日(水)は午後7時まで

正倉院展会期中（10月25日～11月10日）
月曜日～木曜日　：午前9時～午後6時
金・土・日曜日、祝日：午前9時～午後7時

■休 館 日

月曜日（祝日の場合はその翌日）、1月1日（祝）
※正倉院展の会期中は無休

観覧料金

特別展 第60回 正倉院展

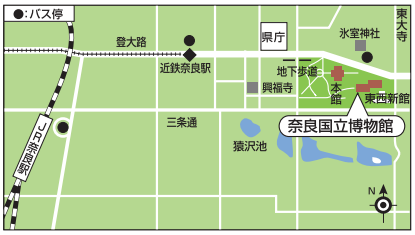
	一　般	高校・大学生	小・中学生
当日（個人）	1,000円	700円	400円
前売・団体	900円	600円	300円
オータムレイト	700円	500円	200円

*オータムレイトは、閉館の1時間30分前以降に販売する当日券の料金です

平常展・特別陳列

	一　般	高校・大学生	中学生以下
個　　人	500円	250円	無　料
団　　体	400円	200円	

*団体は責任者が引率する20名以上
*中学生以下、70歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方は無料です



〔交通案内〕近鉄奈良駅下車徒歩15分、またはJR奈良駅・近鉄奈良駅から奈良交通「市内循環」バス「氷室神社・国立博物館」下車
※当館には駐車スペースがございませんので最寄りの県営駐車場等（有料）をご利用ください。

奈良国立博物館
Nara National Museum

『奈良国立博物館だより』は、1・4・7・10月に発行します。郵送をご希望の方は、何月号かを明記し、返信用封筒を同封して、当館の情報サービス室にお申し込みください。
※返信用封筒には宛名を明記し、長形3号の場合は90円切手を、角形2号の場合は120円切手を貼付してください。

〒630-8213 奈良市登大路町50（奈良公園内）　TEL. 0742-22-7771　FAX. 0742-22-7221　テレホン・サービス 0742-22-3331　ホームページ（URL）http://www.narahaku.go.jp/